

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム好日庵

## 目標達成計画

作成日: 令和 5 年 1 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	利用者さんや家族からの情報、日々野様子やケアの実践、気づきや工夫など、職員間で情報を共有するためのツールとしての各記録がうまく連動していきなく重複も多いため業務が煩雑化している。	必要な情報を必要な時に活かされるよう、介護記録のあり方を見直し検討して、情報共有の元統一したケアができるようにする。	ミーティングで取り上げられたことに対して情報共有・伝達のための効果的な記録について現状や課題を洗い出し、各記録の連動性について検討する。	12ヶ月
2	35	いつ起きるかわからない有事の火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が無事避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築くことが難しい。	災害時の行動手順、優先すべき要救助者の条件等の手順を明確にし職員全員が有事の際、直ぐに行動に移せるようになる。また地域住民との協力体制を構築できる。	BCP研修と災害訓練を統合し明確なマニュアルを作成し訓練を実施する(2/年)。地域住民との関係性を持続できるよう地域イベント、ボランティア活動を実施する。	12ヶ月
3		コロナ感染等が起きた場合など、又、介護職員が確保できない状況から有給など取りにくく、やりがいを持って働くための環境が十分でない。	業務の無駄を省き出来るだけ簡素化、効率化できる事で、その分を利用者さんのケアにあててゆとりある時間を作ることができる。	日頃から5Sの視点より業務の優先順位を明確にして、少ない人数でも必要な業務が進行できるように業務の見直しと環境整備を継続して行えるようにする。ホームページなどで介護職のやりがいを伝えてゆく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。